

○鹿児島大学共通教育科目既修得単位認定規則

平成16年4月1日

規則第143号

(趣旨)

第1条 この規則は、鹿児島大学共通教育科目履修規則(平成16年規則第115号)第11条第4項の規定に基づき、1年次入学前の既修得単位の認定について必要な事項を定める。

(申請期間)

第2条 本学に入学した年度に限り、入学前の既修得単位の認定を願い出ることができ
る。

(認定方法)

第3条 認定方法は、別表のとおりとする。ただし、卒業要件単位数を超えないものとする。

(認定の手続)

第4条 認定を希望する者は、認定願及び成績証明書等を所定の期日までに共通教育センター長に提出しなければならない。

2 認定願及び成績証明書等の提出日は、入学年度の4月1日及び共通教育センター長が定める7月の所定の期日とする。ただし、4月1日が日曜日若しくは土曜日又は国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日(以下この項において「日曜日等」という。)に当たる場合は、当該日の直後の日曜日等でない日とする。

3 単位の認定は、申請者の所属学部で内容の確認を行い、共通教育センター運営委員会の議を経て共通教育センター長が行う。

附 則

この規則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成18年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成22年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成24年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成28年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成29年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成30年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、令和2年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、令和4年4月28日から施行し、令和4年4月1日から適用する。

附 則

この規則は、令和6年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、令和7年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、令和8年4月1日から施行する。

別表(第3条関係)

1年次入学前の既修得単位の認定方法(法文学部・教育学部・理学部・医学部・歯学部・工学部・農学部・水産学部・共同獣医学部)

科目枠組	初年次教育科目群						学際教育科目群			グローバル教育科目群				自然科学科目群		人文社会科学科目群	
	必修						必修	選択必修		必修			選択必修		選択必修		
	学術基礎		体育・健康科学(必修)	体育・健康科学(選択)	情報活用		大学と地域	地域志向	発展・実務	英語	日本語	日本事情	初修外国語 (初級・中級・入門)	国際教養	教養自然科学	基礎自然科学	教養人文社会科学
	学び合いの技法	学術レポートの基礎			情報活用I	情報活用II											
学部	認定方法(認定できる上限単位数)																
法文学部	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位	2単位	4単位	4単位	6単位	2単位	4単位	4単位	4単位	4単位		
教育学部	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位	2単位	2単位	6単位	6単位	2単位	4単位	4単位	4単位	4単位		
理学部	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位	2単位	4単位	6単位	6単位	2単位	4単位	4単位	4単位	4単位		
医学部	医学科	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位	2単位	4単位	4単位	6単位	2単位	4単位	2単位	4単位		
	保健学科(看護)	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位	2単位	2単位	4単位	6単位	2単位	4単位	4単位	4単位		
	保健学科(理学療法・作業療法)	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位	2単位	4単位	4単位	6単位	2単位	4単位	8単位	4単位		
歯学部	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位	2単位	2単位	4単位	6単位	2単位	4単位	4単位	4単位	4単位		
工学部	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位	2単位	4単位	6単位	6単位	2単位	4単位	4単位	4単位	4単位		
農学部	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位	2単位	4単位	6単位	6単位	2単位	4単位	4単位	4単位	4単位		
国際食料資源学特別コース	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位	2単位	2単位	6単位	6単位	2単位	4単位	4単位	4単位	4単位		
水産学部	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位	2単位	4単位	6単位	6単位	2単位	4単位	6単位	2単位	2単位		
共同獣医学部	共同獣医学科	認定しない	認定しない	1単位	1単位	認定しない	認定しない	2単位	2単位	認定しない	-	-	認定しない	認定しない	2単位		
	畜産学科	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位	2単位	4単位	4単位	6単位	2単位	4単位	4単位	4単位		

備考

- 1 各科目群における必修及び選択必修の卒業要件単位数を超えて認定することはできない。
- 2 既修得単位を個別最適化科目の単位として認定することはできない。

- 3 本学において修得した共通教育の単位を、共通教育科目の既修得単位として認定する場合は、各学部の判断で、上記表に掲げる認定単位数を超えて認めることができる。
- 4 教育職員免許状取得のために科目名(日本国憲法、体育・健康科学理論、体育・健康科学実習、英語Ⅰ(LS)、英語Ⅱ(RW)、情報活用Ⅰ、情報活用Ⅱ)を特定する必要がある場合、又は卒業要件を満たすために科目名を特定する必要がある場合を除き、科目名は特定しない。
- 5 卒業要件外科目(学芸員資格科目)の単位認定は行わない。
- 6 他大学の高等接続科目等履修制度により修得した科目(先取り履修科目)の単位認定は行わない。

別表（第3条関係）

1年次入学前の既修得単位の認定方法（法文学部・教育学部・理学部・医学部・歯学部・工学部・農学部・水産学部・共同獣医学部）

科目枠組	初年次教育科目群						学際教育科目群			グローバル教育科目群				自然科学科目群		人文社会科学科目群	
	必修						必修	選択必修		必修			選択必修		選択必修		
	学術基礎		体育・健康科学 (理論)	体育・健康科学 (実習)	情報活用		大学と地域	地域志向	発展・実践	英語	日本語	日本語事情	初修外国語 (初級・中級・入門)	国際教養	教養自然科学	基礎自然科学	教養人文社会科学
	学び合いの技法	学術レポートの基礎			情報活用Ⅰ	情報活用Ⅱ											
学部	認定方法（認定できる上限単位数）																
法文学部	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位	2単位	4単位	4単位	6単位	2単位	4単位	4単位	4単位			
教育学部	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位	2単位	2単位	6単位	6単位	2単位	4単位	4単位	4単位			
理学部	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位	2単位	4単位	6単位	6単位	2単位	4単位	4単位	4単位			
医学部	医学科	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位	2単位	4単位	4単位	6単位	2単位	4単位	2単位	4単位		
	保健学科 (看護)	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位	2単位	2単位	4単位	6単位	2単位	4単位	4単位	4単位		
	保健学科 (理学療法・作業療法)	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位	2単位	4単位	4単位	6単位	2単位	4単位	8単位	4単位		
歯学部	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位	2単位	2単位	4単位	6単位	2単位	4単位	4単位	4単位			
工学部	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位	2単位	4単位	6単位	6単位	2単位	4単位	4単位	4単位			
農学部	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位	2単位	4単位	6単位	6単位	2単位	4単位	4単位	4単位			
	国際食料資源学特別コース	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位	2単位	2単位	6単位	6単位	2単位	4単位	4単位	4単位		
水産学部	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位	2単位	4単位	6単位	6単位	2単位	4単位	6単位	2単位			
共同獣医学部	共同獣医学科	認定しない	認定しない	1単位	1単位	認定しない	認定しない	2単位	2単位	認定しない	-	-	認定しない	認定しない	2単位		
	畜産学科	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位	2単位	4単位	4単位	6単位	2単位	4単位	4単位	4単位		

備考

- 1 各科目群における必修及び選択必修の卒業要件単位数を超えて認定することはできない。
- 2 既修得単位を個別最適化科目の単位として認定することはできない。
- 3 本学において修得した共通教育の単位を、共通教育科目の既修得単位として認定する場合は、各学部の判断で、上記表に掲げる認定単位数を超えて認めることができる。
- 4 教育職員免許状取得のために科目名（日本国憲法、体育・健康科学理論、体育・健康科学実習、英語Ⅰ(LS)、英語Ⅱ(RW)、情報活用Ⅰ、情報活用Ⅱ)を特定する必要がある場合、又は卒業要件を満たすために科目名を特定する必要がある場合を除き、科目名は特定しない。
- 5 卒業要件外科目(学芸員資格科目)の単位認定は行わない。
- 6 他大学の高等接続科目等履修制度により修得した科目(先取り履修科目)の単位認定は行わない。

鹿児島大学共通教育科目既修得単位認定実施要領

平成29年4月1日
共通教育センター長裁定

この要領は、鹿児島大学共通教育科目既修得単位認定規則(平成16年規則第143号。以下「規則」という。)に定めるもののほか、既修得単位の単位認定手続き及び単位認定の方法について必要な事項を定める。

(申請)

- 1 既修得単位の認定を希望する者は、既修得単位認定願及び成績証明書等を共通教育センター(共通教育係)に提出する。

(単位認定手続)

- 2 単位認定手続は、当該申請者が所属する学部の担当教員が規則に基づき、当該申請者の所属学部で面接等を行い、提出書類等により単位認定原案を作成する。

(単位認定の方法)

- 3 単位の認定は、次により行う。
 - (1) 認定を希望する授業科目の単位数の確認は、前在学大学等の成績証明書で行い、鹿児島大学学則(規則第86号)の第40条に規定された単位の計算方法の基準を満たすものとする。
 - (2) 認定を希望する授業科目名及び科目枠組は、前在学大学等の授業科目のシラバス等と本学のシラバス等を照らし合わせ、授業概要等が一致するものとする。

(通知)

- 4 既修得単位認定の結果は、共通教育センター長から申請者に通知するとともに、申請者の所属する学部長へ報告する。

附 則

- 1 この要領は、平成29年4月1日から実施する。
- 2 鹿児島大学共通教育科目既修得単位認定実施要領(平成17年1月27日制定)は、廃止する。

附 則

この要領は、令和6年4月1日から実施する。

○鹿児島大学共通教育グローバル教育科目群における技能審査合格者等の単位認定規則

平成16年4月1日

規則第144号

(趣旨)

第1条 この規則は、鹿児島大学共通教育科目等履修規則(平成16年規則第115号)第12条第2項の規定に基づき、技能審査合格者等の単位認定について必要な事項を定める。

(申請)

第2条 単位の認定を受けようとする者は、所定の申請書に検定試験合格証書等の必要書類を添えて共通教育センター長に提出しなければならない。

2 申請できる単位数は、英語は最大6単位まで、英語以外の外国語は最大4単位までとする。

3 同一の級位又は得点を用いて複数回申請することはできない。

4 申請者が同一言語に係る複数の技能審査等の資格又は成績を有している場合、級位又は得点が同等のものを複数用いて申請することはできない。

5 技能審査等の資格又は成績は、申請期間の開始日において、取得した日から2年を経過しないものを有効とする。

6 申請期間は、原則として前期は4月1日から4月20日まで、後期は10月1日から10月20日までとする。

(認定基準)

第3条 単位認定のための認定基準については、共通教育センター運営委員会が別に定める。

(単位認定)

第4条 単位の認定は、共通教育センター英語教育部門会議又は初修外国語教育部門会議の議を経て共通教育センター運営委員会が行う。

2 単位を認定された者の成績は「認定」とする。

3 認定の結果は、申請者に通知する。

附 則

この規則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成17年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

1 この規則は、平成23年4月1日から施行する。

2 この規則の施行日の前日において在学する学生は、改正後の第3条第4項の規定にか

かわらず、なお従前の例による。

附 則

- 1 この規則は、平成25年4月1日から施行する。
- 2 この規則の施行日の前日において在学する学生に対しては、改正後の規則にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

- 1 この規則は、平成26年4月1日から施行する。
- 2 この規則の施行日の前日において在学する学生については、改正後の第2条及び第3条第3項の規定に関わらず、なお従前の例による。

附 則

- 1 この規則は、平成28年4月1日から施行する。
- 2 この規則の施行日の前日において在学する学生については、改正後の第2条の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

この規則は、平成29年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この規則は、平成30年4月1日から施行する。
- 2 この規則の施行日の前日において在学する学生については、改正後の第2条及び第3条第5項の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

この規則は、平成30年4月26日から施行し、平成30年4月1日から適用する。

附 則

この規則は、令和2年11月26日から施行し、令和2年10月1日から適用する。

附 則

この規則は、令和3年9月22日から施行する。

附 則

この規則は、令和6年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この規則は、令和8年4月1日から施行する。
- 2 この規則の施行日の前日において在学する学生については、改正後の第2条の規定にかかわらず、なお従前の例による。

○鹿児島大学共通教育グローバル教育科目群に係る技能審査等の認定基準に関する
申合せ

令和3年7月16日
共通教育センター運営委員会決定
令和6年9月20日一部改正
令和8年2月20日一部改正
令和8年4月1日実施

第1 鹿児島大学共通教育グローバル教育科目群及び教養基礎科目群における技能審査合格者等の単位認定規則(規則第144号)第3条に定める各技能審査等の認定基準は次のとおりとする。

言語	技能審査等の名称		級位又は得点	認定単位
英語	実用英語技能検定	英検(従来型)	a. 1級	6単位以内(英語I(LS)・英語II(RW)・英語III(LSRW))
			b. 準1級	4単位以内(英語I(LS)・英語II(RW)・英語III(LSRW))
		英検CBT及び英検S-CBT	b. 準1級	4単位以内(英語I(LS)・英語II(RW)・英語III(LSRW))
TOEIC L&R/TOEIC S&W (TOEIC L&Rに関して、IPテストを含む) ※4技能(聞く、話す、読む、書く)試験			a. 1305～1390点 L&R 945点～ S&W 360点～	6単位以内(英語I(LS)・英語II(RW)・英語III(LSRW))
			b. 1095～1300点 L&R 785点～ S&W 310点～	4単位以内(英語I(LS)・英語II(RW)・英語III(LSRW))
TOEFL(iBT)			a. バンドスコア5～6 各セクションスコア R:24～、L:22～ W:24～、S:25～	6単位以内(英語I(LS)・英語II(RW)・英語III(LSRW))
			b. バンドスコア4～4.5 各セクションスコア R:18～、L:17～ W:17～、S:20～	4単位以内(英語I(LS)・英語II(RW)・英語III(LSRW))
IELTS			a. オーバーオール・バンド・スコア7.0～8.0点 各パート7.0点以上	6単位以内(英語I(LS)・英語II(RW)・英語III(LSRW))
			b. オーバーオール・バンド・スコア5.5～6.5点	4単位以内(英語I(LS)・英語II(RW)・英語III(LSRW))

		各パート5.5点以上	
	ケンブリッジ英語検定	a. CAE(180—199点)	6単位以内(英語Ⅰ(LS)・英語Ⅱ(RW)・英語Ⅲ(LSRW))
		b. FCE(160—179点)	4単位以内(英語Ⅰ(LS)・英語Ⅱ(RW)・英語Ⅲ(LSRW))
独語	ドイツ語技能検定試験	a. 3級から1級	4単位又は2単位(初級独語Ⅰ・Ⅱ)
		b. 4級	2単位(初級独語Ⅰ)
	ゲーテ・インスティトゥート検定試験	a. SD 2 (A2)からGDS(C2)	4単位又は2単位(初級独語Ⅰ・Ⅱ)
		b. SD 1 (A1)	2単位(初級独語Ⅰ)
	オーストリア政府公認ドイツ語能力検定試験	a. GD 2 (A2)からWD(C2)	4単位又は2単位(初級独語Ⅰ・Ⅱ)
		b. GD 1 (A1)	2単位(初級独語Ⅰ)
	テスト・ダフ(TestDaF)	a. TDN 3 (B2)からTDN 5 (C2)	4単位又は2単位(初級独語Ⅰ・Ⅱ)
	仏語	実用フランス語技能検定試験	a. 4級から1級
b. 5級			2単位(初級仏語Ⅰ)
フランス国民教育省・フランス語学力テスト(TCF)		a. A2、B1、B2、C1、C2	4単位又は2単位(初級仏語Ⅰ・Ⅱ)
		b. A1	2単位(初級仏語Ⅰ)
フランス国民教育省・フランス語学力資格試験(DELF/DALF)		a. A2、B1、B2、C1、C2	4単位又は2単位(初級仏語Ⅰ・Ⅱ)
		b. A1	2単位(初級仏語Ⅰ)
中国語	中国語検定試験	a. 4級から1級	4単位又は2単位(初級中国語Ⅰ・Ⅱ)
		b. 準4級	2単位(初級中国語Ⅰ)
	漢語水平考試(HSK)	a. 3級から9級	4単位又は2単位(初級中国語Ⅰ・Ⅱ)
		b. 1級、2級	2単位(初級中国語Ⅰ)
韓国語	ハングル能力検定試験	a. 4級から1級	4単位又は2単位(初級韓国語Ⅰ・Ⅱ)
		b. 5級	2単位(初級韓国語Ⅰ)
	韓国語能力試験	a. 2級から6級	4単位又は2単位(初級韓国語Ⅰ・Ⅱ)

		語 I ・ II)
	b. 1 級	2 単位(初級韓国語 I)

※ 級位又は得点欄に付されている記号(a. b.)は、同じ記号であれば級位又は得点が一であるときのみ。

第2 第1の規定に関わらず、技能審査等を実施する団体が諸般の事情により暫定的な方法で技能審査等を実施した場合には、これに対応した一時的な認定基準を設けることができるものとする。

附 記

- 1 この申合せは、令和3年9月22日から実施する。
- 2 この申合せの規定に関わらず、令和2年度以前に入学した学生に係る第1の規定は、なお従前の例による。

附 記

この申合せは、令和6年9月20日から実施する。

附 記

- 1 この申合せは、令和8年4月1日から実施する。
- 2 令和7年度以前に入学した学生については、改正後の第1の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 3 第1の英語 TOEFL (iBT)において、令和8年度以降の入学生が令和8年1月21日変更前のスコアレポート(以下、「旧基準」という。)を提出する場合又は令和7年度以前に入学した学生が令和8年1月21日変更後のスコアレポート(以下「新基準」という。)を提出する場合の認定基準は、改正後の第1及び前項の規定にかかわらず、以下のとおりとする。

令和8年度以降に入学し、TOEFL (iBT)旧基準のスコアレポートを以て申請した場合

言語	技能審査等の名称	級位又は得点	認定単位
英語	TOEFL (iBT)	a. トータルスコア95～120点 各セクションスコア22点以上	6 単位以内 (英語 I (LS) ・ 英語 II (RW) ・ 英語 III (LSRW))
		b. トータルスコア72～94点 各セクションスコア17点以上	4 単位以内 (英語 I (LS) ・ 英語 II (RW) ・ 英語 III (LSRW))

令和7年度以前に入学し、TOEFL (iBT)新基準のスコアレポートを以て申請した場合

言語	技能審査等の名称	級位又は得点	認定単位
英語	TOEFL (iBT)	a. バンドスコア5～6 各セクションスコア R:24～、L:22～ W:24～、S:25～	4単位以内 (英語IA・ IIA・IB・ IIB)
		b. バンドスコア4～4.5 各セクションスコア R:18～、L:17～ W:17～、S:20～	2単位以内 (英語IA・ IIA・IB・ IIB)